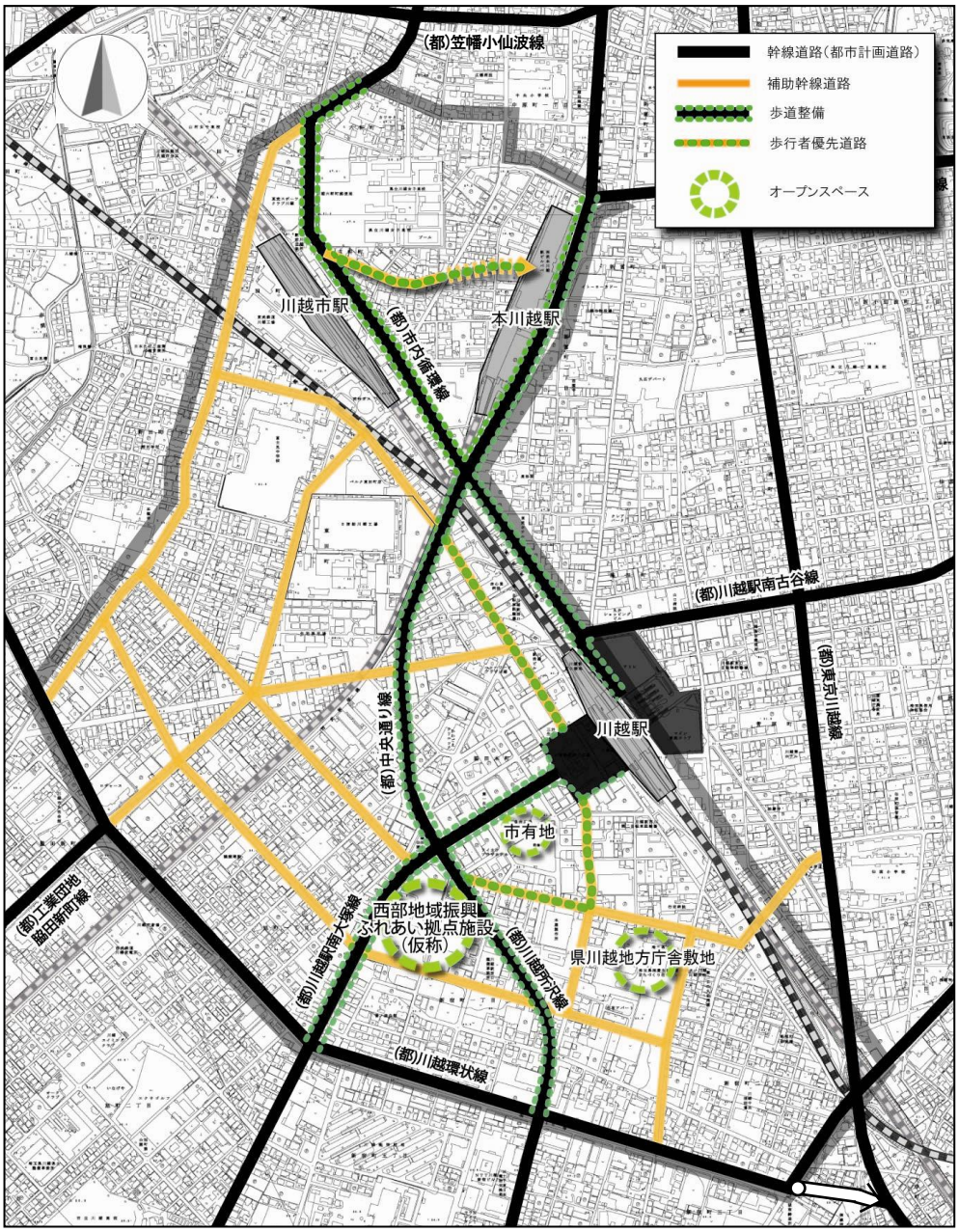
（３）歩行者ネットワーク

現在の川越駅西口周辺地区には、整備済の都市計画道路以外にはほとんど歩行者空間が整備されておらず、歩行者や自転車が安心して回遊できる状況にはありません。

従って、少なくとも川越駅西口と３つの拠点を快適に歩くことができるように、都市計画道路を歩車共存道路と位置付けたうえで、現道（市道）の一部を歩行者優先道路として整備を行うことにより、以下のような歩行者ネットワークの形成を図ります。なお、これら歩行者空間は、歩道のバリアフリー化やポケットパークの併設などにより、高齢化社会に配慮するものとします。

また、川越駅西口周辺地区には公園・広場がほとんど整備されていないため、拠点の形成等において積極的にオープンスペースの確保を図ります。

〔川越駅西口周辺地区の歩行者ネットワーク〕